

在ジュネーブ主要国際機関

2025年12月1日現在

在ジュネーブ国際機関日本政府代表部

機関名（設立年）	主たる任務	長	財政規模（2024年実績額）※	会議日程
< 国連専門機関 >				
国際電気通信連合 ITU (1865) https://www.itu.int/	<ul style="list-style-type: none"> 無線周波数の国際的な割当・調整 電気通信の標準化 電気通信分野における開発支援 	ドリーン・ボグダン-マーティン Ms. Doreen Bogdan-Martin (米国) (前ITU電気通信開発局長) 任期：4年/2026年12月未まで（1期目）再選は2期目まで。	歳入：CHF 184.7百万 (US\$209.6百万) 歳出：CHF 222.0百万 (US\$252.0百万) 日本の貢献額： 分担金：CHF 9.5百万 (US\$10.8百万)（加盟国分 担金総額中8.4%、第2位） 拠出金：US\$ 1.4百万	全権委員会議（4年に1回、直近は2022年9月 末～10月中旬の間開催） 世界無線通信会議・世界無線通信総会、世界 電気通信標準化総会、世界電気通信開発 会議（以上各々4年に1回）、世界国際電気 通信会議（不定期） 理事会（毎年1回、2週間程度）
国際労働機関 ILO (1919) https://www.ilo.org/	労働条件の改善を通じて、社会正義を 基礎とする世界の恒久平和の確立に寄 与、完全雇用、労使協調、社会保障等 の推進	ジルベール ウングボ Mr. Gilbert HOUNGBO (トーゴ) (前IFAD総裁、元ILO副事務局長) 任期：5年/2027年9月未まで（1期目）	歳入：US\$ 450.1百万 歳出：US\$ 409.7百万 日本の貢献額： 分担金：CHF 32百万 (US\$36.5百万)（8.037%、 第3位） 拠出金：US\$ 7.1百万	総会（毎年6月2週間） 理事会（年3回） 3月：2週間 6月：1日間 11月：2週間 その他部門別会合、非公式協議、地域別政 府会合多数
世界保健機関 WHO (1948) https://www.who.int/	世界の保健水準向上のための基準・ガ イドライン作成や技術支援等	テドロス・アドハノム Dr. Tedros Adhanom Ghebreyesus (エチオピア) (元エチオピア外相、保健相、世界基金理事会議 長) 任期：5年/2027年8月まで（2期目） 再選は2期目まで。	歳入：US\$ 3,172百万 歳出：US\$ 3,763百万 日本の貢献額：US\$ 82百万 分担金：US\$ 46百万 (分担率8.0%：第3位) 任意拠出金：US\$ 36百万	総会（5月に5日間、2年に1回8日間） 執行理事会年2回（1月と5月、1日間～8日 間） その他条約締結国会議、政府間会合、技術 的会合多数
世界気象機関 WMO (1950) https://public.wmo.int/	国際気象観測ネットワークの充実及び 途上国気象業務の質の向上	セレステ・サウロ Prof. Celeste SAULO (アルゼンチン) 任期：4年/2027年12月まで（1期目） 再選は2期目まで。	歳入：CHF 108.8百万 (US\$123.5百万) 歳出：CHF 112.4百万 (US\$127.6百万) 日本の貢献額：CHF 6.1百万 (US\$6.9百万) (うち分担金はCHF5.5百万 (US\$6.2百万)、割合 7.9%、加盟国中第3位)	総会（4年に1回、直近は2023年6月） 執行理事会（年1回、直近は2025年6月）
世界知的所有権機関 WIPO (1970) https://www.wipo.int/	知的財産分野のルール・メイキング、 条約管理、法的・技術的アドバイスの 提供、途上国に対する技術援助	ダレン・タン Mr. Daren TANG (星) (前シンガポール知財庁長官) 任期：6年/2026年9月未まで（1期目） 1999年に採択されたWIPO設立条約の第9条(3)の改 正により、2期目までを再選上限とすることが盛 り込まれた。（ただし、同改正への批准数が足り ず現時点では発効していない。）	歳入：CHF 487.6百万 (US\$553.5百万) 歳出：CHF 412.9百万 (US\$468.7百万) 日本の貢献額： 分担金：CHF 1.1百万 (US\$1.2百万)（最高位の 「クラスI」） 任意拠出金：CHF 5.6百万 (US\$6.4百万)（任意拠 出金全体のうち第1位） (注) 歳入全体の9割超は国際出願・登録制度の手 数料収入	総会（7月頃） 調整委員会（不定期） 計画予算委員会 その他技術的会合（常設委員会、専門家委 員会）多数

機関名（設立年）	主たる任務	長	財政規模（2024年実績額）※	会議日程
<その他国連諸機関>				
国際移住機関 IOM (1951) https://www.iom.int/	移民・難民・国内避難民・被災者等の個人への直接支援、関係国への技術支援及び移住問題に関する地域協力の促進を実施	エイミー・ポープ Ms. Amy Pope (米国) (IOM前副事務局長（管理・改革担当）) 任期：5年/2028年9月まで（1期目） 再選は2期目まで。	歳入：US\$ 3,709.4百万 歳出：US\$ 3,672.5百万 日本の貢献額： 分担金：CHF 6.4百万（US\$7.7百万※） （8.3787%、第3位） 拠出金：USD 51.4百万（第8位） ※IOM財務報告書に合わせCHF・US\$のレートは1 US\$=0.835CHF（2024年1月現在）で計算	総会(11月又は12月) プログラムと財政に関する常設委員会（6月・10月）
国連難民高等弁務官事務所 UNHCR (1951) https://www.unhcr.org/	難民、無国籍者、国内避難民の保護、難民問題の恒久的解決	フィリポ・グランディ Mr. Filippo GRANDI (伊) (元UNRWA事務局長) 任期：5年/2025年12月未まで（2期目） ※2026年1月、Barham Salih（イラク）に交替予定。（任期5年。）	歳入：US\$ 5,179百万 歳出：US\$ 4,933百万 日本政府の貢献額：US\$ 118百万 （各国等拠出総額中3.1%、第6位）	執行委員会（10月、1週間） 常設委員会（3月（3日間）、6月又は7月（3日間）、9月（2日間）） 保護課題に関する高等弁務官対話（12月） プレッジング会合、計画会合（12月） グローバル難民フォーラム（4年に1回、前回2023年（日本共催国）、次回2027年）、同フォーラム進捗レビュー者会合（4年に1回、次回2029年）
国連貿易開発会議 UNCTAD (1964) https://unctad.org/	貿易、投資等を通じた途上国の世界経済への統合	レベッカ・グリンスパン Ms. Rebeca Grynszpan (コスタリカ) (元コスタリカ副大統領) 2021年9月就任、2025年9月再選。2025年10月に次期国連事務総長選挙に立候補。2026年2月から休職。	【2024年実績（※公表されている確定額として最新）】 歳入：US\$ 83.5百万 歳出：US\$ 81.8百万 日本の貢献額（通常予算）：US\$ 6.57百万（通常予算の8.033%、第3位）	総会（4年に1回） 理事会（6月頃、1～2週間）、理事会執行会期（年3回、各3日間程度）、委員会（年1回、各1週間）、戦略枠組・計画予算作業部会（年3回、各3日間程度）、政府間専門家会合等
国際貿易センター ITC (1964) https://www.intracen.org/	途上国の中小企業の競争力強化や貿易・投資関連機関への支援を通じた途上国の世界経済への統合	パメラ・コーク・ハミルトン Ms. Pamela Coke-Hamilton (ジャマイカ) (元UNCTAD国際貿易部ディレクター) 2020年10月就任	歳入：US\$ 173.84百万 歳出：US\$ 171.39百万 日本の貢献額：US\$ 0.5百万（任意拠出額）	合同諮問委員会（年1回） 信託基金協議委員会（年2回）
国連訓練調査研究所 UNITAR (1965) https://unitar.org/	研修等を通じた開発途上国の外交官、公務員及び国連職員等の能力開発	ミシェル・ギレス・マクドノー Ms. Michelle Gyles-McDonnough (ジャマイカ) (前職：国連事務総長室持続可能な開発担当部長（D2）) 2025年2月就任	歳入：US\$ 65.3百万 歳出：US\$ 57.4百万 日本の貢献額：US\$ 4.86百万（うち一般基金への拠出金：US\$ 0.02百万）	理事会（年1回） UNITARフレンズ会合（ドナー国及び受益国の代表を集めた会合、年1回）
国連合同監査団 JIU (1978) https://www.unjiu.org/	国連、専門機関、計画・基金の業務の効率性等の監査	カロリーナ・フェルナンデス・オパゾ Ms. Carolina Fernández Opazo (墨) (前職：元メキシコ外務省審議官) 任期（議長）：1年/監査官による互選（2期目） 2025年12月未まで） ※2026年1月、Conrod Cecil Hunte（アンティグア・バーブーダ）に交代予定	歳入：US\$ 8.7百万 歳出：US\$ 8.7百万 日本の貢献額：US\$0.70百万（8.033%、第3位）	随時監査官会議を開催。例年12月の監査官会議で翌年の監査計画を実質的に決定。

機関名（設立年）	主たる任務	長	財政規模（2024年実績額）※	会議日程
国連人権高等弁務官事務所 OHCHR (1993) https://www.ohchr.org/	<ul style="list-style-type: none"> 全世界の人権状況の調査・報告 人権分野における技術協力、啓発活動の実施 人権理事会の事務局 	ヴォルカー・ターク Mr. Vorker Turk (オーストリア) 任期：4年/2026年10月まで(再任は2期目まで)	歳入：US\$ 438.9百万 通常予算外 US\$ 269.4百万 歳出：US\$ 450.1百万 通常予算外 US\$ 279.3百万 日本の貢献額（通常予算外）：US\$ 1.21百万 (0.1%、第26位)	人権理事会(年15週間)、人権理事会諮問委員会(年2回、計2週間)、UPR作業部会(年3回、計6週間)、その他
世界貿易機関 WTO (1995) (前身：関税及び貿易に関する一般協定(GATT, 1948発足)) https://www.wto.org/	<ul style="list-style-type: none"> 多角的貿易体制の維持 自由貿易の促進 交渉の推進 	ゴズィ・オコンジョ＝イウェアラ Dr. Ngozi Okonjo-Iweala(ナイジェリア) (元ナイジェリア財務相、外相、世界銀行専務理事、GAVI理事長) 任期：4年/2029年8月まで(2期目)	歳入：CHF 206.2百万 (US\$234.0百万) 歳出：CHF 196.3百万 (US\$222.8百万) 日本の貢献額：CHF 7.49百万 (US\$8.5百万) (3.688%、第4位)	閣僚会議(2年に1回、直近は2024年3月、次回は2026年3月) 一般理事会(年に4～5回)
国連エイズ合同計画 UNAIDS (1996) https://www.unaids.org/	国連のエイズ関係機関の連携と協調を通じて、世界のエイズ対策を強化	ウィニー・ピアニマ Ms. Winnie Byanyima (ウガンダ) 2019年11月就任 (※任期を定める議論は事業調査委員会であるものの、現状では採用されていない)	歳入：US\$ 233.0百万 歳出：US\$ 226.4百万 日本の貢献額：US\$ 約8.0万(2024年度)	事業調整委員会(年2回、3日間)
国連防災機関 UNDRR (2000) ※2019年5月に略称・邦訳変更 https://www.undrr.org/	<ul style="list-style-type: none"> 防災戦略に関する国際・地域会議の開催及び関係機関・国との調整 防災戦略に関する情報の収集・分析・公表 防災対策に関する意識啓発 	カマル・キショー Mr. Kamal Kishore (インド) (元インド国家災害対策庁) 2024年5月就任	歳入：US\$ 56.5百万 歳出：US\$ 61.3百万 日本の貢献額：US\$ 5.4百万(第4位)	サポート・グループ会合(隔月1回) グローバル・プラットフォーム会合(3年に1回) 国連防災世界会議(直近は2015年3月) ドナー会合(年2回程度(春・秋))
<多国間条約事務局>				
ワシントン条約事務局 Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora (CITES) (1975) https://cites.org/	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保護	イボンヌ・イグエロ Ms. Ivonne Higuero (パナマ) 2019年12月就任 ※事務職であり任期や再選に係る上限は規定されていない。	※コア予算 歳入：US\$ 7.0百万 歳出：US\$ 7.9百万 日本の貢献額 分担金：US\$ 0.5百万(7.8%、第3位)	締約国会議:COP(3年以内に1回、直近は2025年11-12月) 常設委員会(年1回) 動物・植物委員会(年1回)
ラムサール条約事務局 Convention on Wetlands of International Importance especially as Waterfowl Habitat (RAMSAR CONVENTION) (1975) https://www.ramsar.org/	<ul style="list-style-type: none"> 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全 湿地の適正な利用の推進 	ムソンダ・ムンバ Dr. Musonda Mumba (ザンビア) 2022年10月就任 ※事務職であり任期や再選に係る上限は規定されていない。ただし、2025.5に、IUCN事務局長により契約任期が2028年12月末日まで延長が承認されている。	※コア予算 歳入：CHF 5.0百万(US\$5.7百万) 歳出：CHF 5.3百万(US\$6.1百万) 日本の貢献額 分担金：CHF 0.39百万(US\$0.45百万)(8.2%、第3位)	締約国会議:COP(3年に1回、直近は2025年7月) 常設委員会(年1回) 科学技術委員会(年1回)

機関名（設立年）	主たる任務	長	財政規模（2024年実績額）※	会議日程
バーゼル条約・ロッテルダム条約・ストックホルム条約事務局 BASEL, ROTTERDAM AND STOCKHOLM CONVENTION (2011) http://www.brsmeas.org/	バーゼル条約：有害廃棄物等の越境移動の規制 ロッテルダム条約：化学物質及び駆除剤の輸出に際しての事前同意制度 ストックホルム条約：残留性有機化学物質（POPs）の製造・使用の禁止等	ロルフ・バエット Mr. Rolph PAYET（セーシェル） （元セーシェル環境大臣） 2014年10月就任 ※事務職であり任期や再選に係る上限は規定されていない。	・歳入・歳出は一般信託基金への2023年実績（※公表されている確定額として最新） ・日本の貢献額は最新2025年のもの。各国貢献額の総和に対する比率とともに表示。 【バーゼル】 歳入：US\$ 5.1百万 歳出：US\$ 5.3百万 日本の貢献額 分担金：US\$ 0.51百万（10%，第2位） 【ロッテルダム】 歳入：US\$ 4.5百万 歳出：US\$ 4.8百万 日本の貢献額 分担金：US\$ 0.33百万（10%，第2位） 【ストックホルム】 歳入：US\$ 6.7百万 歳出：US\$ 7.1百万 日本の貢献額 分担金：US\$ 0.53百万（10%，第2位）	締約国会議：COP（2年に1回。2013年より3条約の合同COP開催。直近は2025年4-5月。） COP会期間にバーゼル条約オープンエンドワーキンググループ（OEWG）、バーゼル条約遵守委員会、化学物質検討委員会（CRC）、POPs検討委員会（POPRC）等を開催
水銀に関する水俣条約事務局 The Minamata Convention on Mercury (2017) http://www.mercuryconvention.org/	水銀の採掘、貿易、製品や製造プロセスへの使用、排出等の規制	モニカ・スタンキウィッチ Ms. Monika Stankiewicz（ポーランド） 2020年1月就任 ※事務職であり任期や再選に係る上限は規定されていない。	【2023年実績（※公表されている確定額として最新）】 歳入：US\$ 4.9百万 歳出：US\$ 4.6百万 日本の貢献額（一般信託基金への2025拠出） 分担金：US\$ 0.35百万（8.2%，第3位）	締約国会議：COP（2年に1回（ただし3回目までは1年に1回）。直近は2025年11月に開催。）
<その他>				
赤十字国際委員会 ICRC (1863) https://www.icrc.org/	紛争犠牲者の救援活動、国際人道法の普及	ミリヤナ・スポルヤリッチ・エグガー Ms. Mirjana Spoljaric Egger（スイス） 任期：4年/2026年9月まで	歳入：CHF 2,159.4百万（US\$2,451.1百万） 歳出：CHF 1,930.9百万（US\$2,191.7百万） 日本の貢献額：CHF 34.3百万（US\$38.9百万）	赤十字・赤新月国際会議（4年に1回） 赤十字・赤新月代表者会議（2年に1回） ドナーサポートグループ年次会合（6月） ドナーサポートグループ政策フォーラム：年2回
列国議会同盟 IPU (1889) https://www.ipu.org/	各国議会・議員間の交流促進、国際社会における議会外交促進、代議制諸制度の強化・発展	トゥリア・アックソン Dr. Tulia Ackson（タンザニア） 議長（2023年10月就任） 任期：4年/2027年9月まで マーティン・チュンゴング Mr. Martin Chungong（カメルーン） 事務総長（2014年7月就任） 任期：4年/2026年6月まで（再選2回まで可）	歳入：CHF 15.0百万（US\$17.0百万） 歳出：CHF 15.4百万（US\$17.4百万） 日本の貢献額 分担金：CHF 1.01百万（US\$1.13百万）（8.49%，第2位）	年次総会（年2回）、直近（第151回）は2025年10月に開催
国際赤十字・赤新月社連盟 IFRC (1919) https://media.ifrc.org/	各国赤十字社、赤新月社の国際的連合体として、自然災害、緊急災害時の救援活動、開発援助等救済活動	ケイト フォーブス Ms. Kate Forbes（米） 任期：次期IFRC総会（2026年10月頃）まで	歳入：CHF 593.3百万（US\$673.4百万） 歳出：CHF 676.0百万（US\$767.3百万） 日本（政府）の貢献額：CHF 9.3百万（US\$10.6百万）	赤十字・赤新月国際会議（4年に1回） 赤十字・赤新月代表者会議、連盟総会（2年に1回） 連盟理事会：年2回 ドナー・アドバイザー・グループ年次会合：年1回

機関名（設立年）	主たる任務	長	財政規模（2024年実績額）※	会議日程
国際自然保護連合 IUCN (1948) https://www.iucn.org/	・レッドリスト作成 ・持続可能な社会を実現し、自然保護 および生物多様性に関する国レベルの 戦略を施策、実施	グレテル・アギラ Dr. Grethel Aguilar (コスタリカ) 2023年10月就任 ※事務職であり任期や再選に係る上限は規定され ていない。	歳入：CHF 197百万 (US\$223百万) 歳出：CHF 194百万 (US\$220百万) 日本の貢献額：CHF 0.49百万 (US\$0.56百万) (経済規模によって分けられた11のカテゴリーにごとに 割り振られ、日本は米・独・中とならび最高額の区分) 環境省は、別途政府機関会費を拠出	世界自然保護会議 (IUCN総会)：4年に1 回、直近は2025年10月(アブダビ) 理事会年2回
欧州原子核研究機構 CERN (1954) https://home.cern/	科学技術（素粒子物理分野）の研究開 発、国際共同研究環境の提供、科学技 術人材の育成、欧州素粒子物理戦略の 策定	ファビオラ・ジアノッティ Dr. Fabiola Gianotti (伊) 任期：5年/2025年12月まで（2期目） ※原則再選はなし。 2026年1月、Dr. Mark THOMSON（英、任期2030 年12月まで）へ交代予定。	【2024年実績】 歳入：CHF 1,362.8百万 (US\$1,540.0百万) 歳出：CHF 1,513.8百万 (US\$1,710.6百万) 日本の貢献額：日本はオブザーバーであるため、運 営費への拠出はなし。	理事会（公開会合：年1回、制限会合：年3 回）
国際植物新品種保護同盟 UPOV (1961) https://www.upov.int/portal/index.html.en	植物新品種の開発の促進のための植物 品種保護の効果的なシステムの提供及 び協力	ダレン・タン Mr. Daren TANG (星) (前シンガポール知財庁長官) 任期：6年/2026年9月末まで（1期目）再任は2期 目まで。 ※WIPO事務局長が兼任。	歳入：CHF 3.8百万 (US\$4.3百万) 歳出：CHF 3.4百万 (US\$3.9百万) 日本の貢献額： 分担金：CHF 0.3百万 (US\$0.3百万)（最高位の5ユ ニット） 任意拠出金：CHF 0.2百万 (US\$0.2百万)（任意拠 出金全体CHF 0.4百万の49%、第2位）	総会（10月） 評議会（10月） 法務運営委員会（10月） 技術委員会（10月） その他技術的会合
世界経済フォーラム WEF (1971) https://www.weforum.org/	政治、経済、学術などの各分 野における指導者層の交流促 進	アンドレ・ホフマン Mr. André Hoffmann (スイス) ラリー・フィンク Mr. Larry Fink (米国) 暫定共同会長 (Interim Co Chairs)	歳入：CHF468百万 (US\$531百万) 歳出：CHF468百万 (US\$531百万) 世界の企業・団体で構成される法人会員が拠出	年次総会（通称「ダボス会議」）は年1 回 直近は2025年1月に開催
気候変動に関する政府間パネル IPCC (1988) https://www.ipcc.ch/	気候変動に関連する科学的、技術的及 び社会・経済的情報の評価、報告書の 作成・公表	アブダラ・モクシット Mr. Abdallah MOKSSIT (モロッコ) (元モロッコ気象庁長官) 2016年就任 ※事務職であり任期や再選に係る上限は規定され ていない。	歳入：CHF 6.6百万 (US\$7.5百万) 歳出：CHF 6.9百万 (US\$7.9百万) 日本の貢献額： 任意拠出金CHF 0.24百万 (US\$0.28百万)（第5位）	総会（年2～3回）
GAVI アライアンス GAVI (2000) https://www.gavi.org/	途上国における予防接種へのアクセス の機会を拡大することを目的として、 ワクチンの購入、予防接種実施体制強 化の支援を実施	サニア・ニシュタル Dr. Sania Nishtar (パキスタン) (元パキスタン元老院議員) 任期：3年/2024年3月就任	歳入：US\$ 2,806百万（ドナー拠出金合計 COVAX含 む）(2024年) 日本の貢献額：累計総額US\$ 1,584百万（2024年12 月末時点）(累計第5位)	理事会（年2回に加え、電話による会合を随 時開催）

機関名（設立年）	主たる任務	長	財政規模（2024年実績額）※	会議日程
ストップ結核パートナーシップ Stop TB Partnership (2001) http://www.stoptb.org/	結核についての認識を高め、結核の予防、治療、研究への取り組みと資金提供の拡大を提唱。また、グローバル・ドラッグ・ファシリティを通じて抗結核薬等を提供。	ルチカ・ディティウ Dr. Lucica Ditiu (ルーマニア) 2011年1月就任	歳入：US\$ 192.1百万(2024年) 歳出：US\$ 203.1百万(2024年) 日本の貢献額 US\$ 0.8百万 (2024年度実績)	理事会(年に1回以上) 直近(第39回)は2025年10月に開催
世界エイズ・結核・マラリア対策基金 GLOBAL FUND TO FIGHT AIDS, TUBERCULOSIS AND MALARIA (2002) https://www.theglobalfund.org/	エイズ、結核、マラリアのケア、治療、予防対策に資金を提供	ピーター・サンズ Mr. Peter SANDS (英) (元スタンダードチャータード銀行CEO) 任期：4年(2026年3月まで)(2期目)	歳入：US\$ 117億(2023-2025年) 日本の貢献額：累計総額US\$ 52.4億 (2025年12月12日時点)	増資会合(3年に1回、次回は2025年) 理事会(定例会合：年2回、臨時会合：随時)
地球観測に関する政府間会合 GEO (2005) http://www.earthobservations.org/	衛星観測、海洋観測及び地上観測を統合した複数の観測システムからなる包括的な地球観測のシステムの構築	ヤナ・ゲヴォルギャン Ms. Yana GEVORGYAN (米) (元米国NOAA GEOプログラムマネージャー) 任期：3年/2027年6月まで(2期目)	【2024年実績(※公表されている確定額として最新)】 歳入：CHF 5.0百万(US\$5.7百万) 歳出：CHF 5.0百万(US\$5.7百万) 日本の貢献額(AOGEO Symposium拠出額を含む)：CHF0.41百万(US\$0.47百万)(8.2%)	閣僚級会合(3~4年に1回) 本会合(年1回) 執行委員会(年3回) プログラム委員会(年3~4回)

(※) 財政規模(2024年度実績額)のスイスフラン表示について、為替レートは1米ドル=0.881スイスフランで計算している(2024年年平均)。